

自己評価票

地域密着型サービス自己評価項目

(評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

【記入方法】

- 複数のユニットを持つ認知症対応型共同生活介護事業所の場合、各ユニットごとに、管理者が介護職員と協議の上記入してください。
- 次の項目は、小規模多機能居宅介護事業所のみ記入してください。
項目番号23 ○初期に築く本人との信頼関係
項目番号24 ○初期に築く家族との信頼関係
項目番号25 ○初期対応の見極めと支援
項目番号26 ○馴染みながらのサービス利用
項目番号39 ○事業所の多機能性を活かした支援
- 次の項目は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入してください。
項目番号53 ○身だしなみやおしゃれの支援
項目番号59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援
項目番号60 ○お金の所持や使うことの支援
項目番号61 ○日常的な外出支援
項目番号62 ○普段行けない場所への外出支援
項目番号63 ○電話や手紙の支援
項目番号64 ○家族や馴染みの人の訪問

【用語について】

- 管理者＝指定事業者としての届出上の管理者とする。「管理者」には、管理者不在の場合にこれを補佐する者を含む。
- 職員＝「職員」には、管理者及び非常勤職員を含む。

事業所名 グループホームもも太郎さん(上ノ台)

(ユニット名) 1F

記入者(管理者)
氏名 田上久美

評価完了日 H21年1月20日

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業者の理念は「自由」「家族の絆」と地域密着型サービスとして「地域に密着し地域に開放された場として交流を深める」との基本理念を掲げ日々の業務に取り組んでいる。	○ 地域住民との交流を独自に表現した基本理念の構築をし、現在も継続出来る様努力している。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	「地域密着型サービスを理念」に加え理念を共有し問題は何か日々考え実践しているところである。	○ 地域に根ざした開かれたホームを目指し地域の方に理解を得、心より受け入れられ又地域奉仕の積極的参加を利用者、職員にて行っているが今後も継続していきたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	入居時に説明、玄関に重要事項説明書の掲示、パンフレットの設置、運営推進会議のときに家族、地域の方に地域の中で暮らし続ける大切さを理解して頂ける様日々努力している。	○ 地域の方に回覧板等でご案内させていただく。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩時には安全運転にて通ってくださり会釈をすると返して下さる方もいる。挨拶をきちんとする。気軽に立ち寄っていただけるよう新年の挨拶にも伺いました。お花や柿を差し入れてくださる方、ホーム行事に参加して下さる方、独り暮らしの方を招待している。	○ 隣組はもちろんの事町内会の一員として明るく正直に対応していきたいと思う。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入させていただき区長始め町内会長に分からないときにはご指導をいただきながら地域活動に微力ではありますが参加し地域に少しでも貢献していきたい。	○ 地域活動の参加の継続その他地域の人々との交流を大切に思い出も一つ一つ作っていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>介護教室等の開催、事業所の場所の提供など提案し地域の高齢者の役に立てるよう話し合いをしながら行っていきたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	<p>グループホームの利用者、家族が安心して質の高いケアサービスが受けられるように、職員一同更に理解を深めサービスの質の向上に努めていきたい。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	<p>これからも運営推進会議を定期的で開催し、自己評価や外部評価の結果を話し合い、サービスの質の向上に向けて継続的な取り組みをしていきたい。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	○	<p>これからも介護相談員や市町村に行き来する機会を作りサービスの質の向上に努めたい。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	<p>権利擁護に関する制度利用について職員も理解を深める学習会、研修等に積極的に参加し必要の人にそれらを活用出来る様に支援して行きたい。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		<p>虐待、拘束0の徹底実施、職員の学習会、研修会の積極的な参加、尊厳を持って介護にあたっていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には入居前の訪問を含め十分な説明を本人、家族に実施し理解、納得を頂いてから契約を結んでいる。</p>	<p>利用者、家族から不安や疑問点等あれば迅速に対応し不安のない納得した生活を送れる様にしている。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>事業所入口に苦情相談窓口のポスターを掲示し、ポストも設置し意見、要望等の書式も用意し苦情等発生した場合は誠意を持って対応し又第三者委員、苦情受付体制を明確に壁に掲示し介護相談員、民生委員の方に訪問して頂く事により運営に反映させている。</p>	<p>今後も利用者から気軽に、意見、要望、苦情等が出しやすいよう細かい配慮をし、適切な運営に反映する。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>状態の変化や問題があった場合はその日のうちに家族に報告し、近況や行事等の様子等は家族面会時、多忙で来られない方には電話にて報告させて頂き立替え等依頼ある方については請求書に領収書を一緒に入れ確認して頂いている。職員の異動、新職員入社時必ず挨拶をし紹介させて頂いている。</p>	<p>○</p> <p>家族や地域の方等に事業所での利用者の普段の暮らしぶりや行事参加時の様子、行事予定、取り組みなど定期的な広報活動を面会時渡す、郵送、町内回覧板載せて頂く様準備をしている。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>事業所入口に苦情相談窓口のポスターを掲示し、ポストも設置し意見、要望等の書式も用意し苦情等発生した場合は誠意を持って対応し又第三者委員、苦情受付体制を明確に壁に掲示し、介護相談員・民生委員の方に訪問して頂く事により運営に反映させている。</p>	<p>今後も家族から気軽に、意見、要望、苦情等が出しやすいよう細かい配慮をする。又運営推進会議を活用し、定期的に家族の意見を伺い適切な運営に反映する。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1回の全体ミーティングを管理者、本部、本会議終了後開催ユニット別ミーティング、その都度職員全員で話し合わなければいけない事があれば開催し運営に関する職員の意見、提案を伝える体制は継続している。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>職員の話し合い等にて勤務の調整を行い要望に柔軟に対応が出来ている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		<p>異動や離職を最小限にし、働きやすい職場環境を作っていきたい。</p>
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		<p>各個人の段階に応じた年間育成計画を立て、内外研修参加を図りたい。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>		<p>これからもグループホーム連絡協議会の研修参加や他事業者との交流を深め、サービスの質の向上に取り組んでいきたい。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>		<p>ストレス軽減に向けて、職員が心身共に健康で気持ちよく働けるような職場環境作りに取り組んで行く。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている(小規模多機能居宅介護)		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	レクリエーション・行事・家事等普段からのコミュニケーションを本人のペースに合わせて教えていただく事を大切に、笑ったり怒りをぶつけてこられても受容し支えあう関係を築いている。	利用者の持っている知識や能力を考慮し何が出来て何が出来ないのかを見極めて信頼し支え合う関係をこれからも継続する。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族との連携も図っており年に一度家族にも行事へ参加して頂き意見が出しやすい関係作りに努めている。		理念である「家族の絆」を大切にし一緒に本人をこれからも支えていきたい。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の意見や希望を率直に伝え、お互いがより良い関係を築けるよう少しの気付き変化を随時お伝えしている。		より良い関係が築ける様本人、家族の話しを伺い、家族、知人が一緒に参加出来る行事等の企画声掛け等し家族会も発足したい。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前一緒に仕事をしていた方や近所の方古い友人の方など本人が記憶になくなっていても途切れないようにしているが、場所については全員の対応は出来ていない。		家族等の協力を頂きながら、連携を図り馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めていきたい。
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員が間に入り他利用者の良い点に気付いて頂ける様支援している。		孤立する事なく利用者同士の関わりが良好で、心配したり励ましたり支え合い関係性の構築が出来てきている。
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居後クリスマスカード・年賀状を郵送したり入院した際にはお見舞いに行き様子を伺ったりしている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	理念である「自由」に基づき一人一人の思いや意向を反映させ希望に添えるよう支援している。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴、経過等できる限り本人、家族に話しを聞き把握している。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	本人の行動発言、健康状態を記録に残す事で現状を職員全員が把握している。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族、本人の意向を尊重しより良く暮らしていただくよう介護計画を作成している。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の体調や状態の変化に伴いその都度ケアカンファレンスを開き介護計画の見直しを行っている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に実践、結果、気づき等記載されている。情報共有しながら実践しプランの見直しに活かしている。		これからも充実した内容のケア実践、結果、気づきの工夫をして個別記録とし介護計画の見直しに活かして行きたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている (小規模多機能居宅介護)			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	介護相談員、民生委員、ご近所、慰問ボランティア、警察、消防等から協力をお願いしている。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在他のサービスを利用されている方はいませんが必要があれば対応させて頂く。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議での定期的参加とご指導を依頼したが、必要時に地域包括支援センターが協働すること、現在は積極的な交流まではいたっていない。		必要に応じ今後は交流を持ち協働していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		状態に応じ認知症専門医の受診支援を行っていききたい。
45			
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		重度化や終末期の看取り対応について意志確認書や対応指針の作成を実施し対応方針の共有化を書面で出来るようにする。
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入居前に家族及び本人に係わる話し合いや情報交換を行い不安など少しでも軽減し寄り添ったケアが出来る様支援させて頂いている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉掛けや対応には気を付けて職員全員が尊厳を持って接している。守秘義務を施行している。	○	プライバシーの確保の徹底を今後も継続して行きたい。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	一人一人に合わせた説明を行い自己決定をして納得した上で暮らせるよう支援している。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースを大切に楽しく生活して頂ける様支援を行っている。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援(53は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている(認知症対応型共同生活介護)	職員と共に本人の希望に沿って洋服を選びを行っている。訪問理美容を理容している方や馴染みの床屋さんを呼んでいる方家族が外出の際に連れて行ってくださる事もある。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>食事準備や片付けを一緒に行い料理作りの楽しさを感じて頂きながら団欒のなかで楽しく食事をしていただいているが、積極的にもっと参加して頂けるよう支援していきたい。</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	<p>買い物に出かけたりして各利用者のお好きな物を買って、生活を楽しめる様に支援していきたい。</p>
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	<p>オムツ使用者のトイレでの排泄の声掛け誘導に力を入れて行きたい。</p>
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	<p>風呂の中で職員と会話、歌などでリラックスして頂ける様支援したい。</p>
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	○	<p>ホットココアなど体にやさしい安眠しやすい飲み物を飲んで頂いたり談話でリラックスして就寝して頂いている。</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)</p>	○	<p>馴染みの場所、人など出来る限りの把握に努め行ける、会える、手紙を出す、などの支援を積極的に支援していきたい。</p>


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している（認知症対応型共同生活介護）	大金管理は家族がしている。少額の金銭管理の出来る方は、少額の金銭は所持しており、毎日の食材他の買い物時、職員同行にて買い物を楽しんでもらう支援をしている。		必要以上の金銭は持たれないよう又事業所預かり金も行っていない為立替えにて購入、請求時一緒に納入する事になっている。
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している（認知症対応型共同生活介護）	毎日ご近所を散歩し季節を感じて頂き、病院受診後希望時外食にも出掛けている。		散歩、外出に消極的な方にも参加して頂ける様声掛けを工夫して機会を設けて行きたい。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している（認知症対応型共同生活介護）	外食、家族、近所の方を招いてのバーベキュー外出する機会を行事として取り入れている。家族と過ごす時間も作って頂いている。	○	利用者から行きたい場所の要望を聞いて出来る限り対応していきたい。又家族にも外出の機会を増やしてもらいたい。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている（認知症対応型共同生活介護）	利用者より家族に電話を掛けたいと要望がある場合は遠くに住んでいる家族にも電話をつなぎ家族から電話を頂いたときは利用者になるなど配慮し、葉書を出したいのでと話される時は一緒にポストまで出しに行けるよう支援している。		手紙を書ける利用者は少ないが思いを代筆する事は可能なので要望があれば対応したい。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している（認知症対応型共同生活介護）	出来る限り時間を作って頂ける様お願いをさせて頂き気軽に訪問して頂けるよう採光、臭い、掃除にも気をつけて笑顔で明るく接し、次に来所した際にも変わらず暖かい雰囲気でも過ごしていただきたいと思っている。		これからも利用者と家族、友人等家族の絆が途切れず深まるようあらゆる努力をしていきたい。
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在までに身体拘束は行っていないが、禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解出来るよう勉強会、研修会など積極的に参加したい。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		<p>帰宅願望出現時の対応として一緒に外出し気分転換を図って頂くなど状態に合わせたケアが出来る様取り組んでいく。</p>
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	<p>職員各自が利用者一人ひとりの状態を把握して、些細な変化も見逃さないように日常の気づき等を職員間で共有している。又、防災訓練や外部の講習会の受講等で、具体的な防止策について学び、検討していく。</p>
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		<p>定期的に訓練を行っていない為今後は積極的に行っていきたい。</p>
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	<p>地域の人々の協力をどのように頂くかを話し合いまでいけていなく、今後早急にお願ひにあがり協力を頂ける様努めたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	面会時等に現在の状況をお伝えし、危ないからということではなくどうしたら安心して生活いただけるかを考え、自由の中での安全も確保しながらリスクの回避をしている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日の健康状態をチェックし、ちょっとした変化を見逃さず状態に応じては主治医に連絡し、指示を受けると共に家族に報告し、24時間職員は様子観察をきちんと行っている。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の用量、副作用については薬剤情報をきちんと把握し記録に綴じいつでも見れるようになっており、特に薬が変更になった場合は症状の観察を注意して見ている。		分包している薬は間違いなく処方している数があるかまで確認し適正に服薬出来、飲み忘れ等無いよう支援している。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	体操を行ったり便秘時水分を多目に飲んで頂いたり献立も高齢者に合った野菜中心の偏りのない食材を提供している。腸の蠕動運動をいれながらの体操もすぐには効果がないが必要と考えている。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	総義歯、部分義歯、自分の歯が一本でも残っている場合全介助、一部介助個々にあった口腔ケアを毎食後一人一人を実施している。口腔体操も歌を歌ったりして行っている。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量が目で見える様毎日チェックをし食事量が少ない時はおにぎりなどにし形態を変え出来る限り摂取して頂ける様配慮し、苦手、アレルギーなど服薬に関係のある食物など考慮し提供している。		一人一人の嗜好を把握し、苦手な食物は形態を変えれば摂取出来る食物は摂取して頂ける様支援し、食道狭窄がある方はミキサートロミ食で対応しむせり等ある方もトロミをつけて誤嚥など引き起こさないよう留意している。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	フロア、トイレ、手摺、台所等の掃除を次亜塩素酸ナトリウムで消毒し外出から帰った場合は手洗い喉嗽をきちんと実施して頂き、使い捨ての紙ペーパーで拭いて捨てて頂く。インフルエンザの予防接種の実施、清潔の衣類を着て頂く、入浴マットの交換、感染症マニュアルに則り清潔、不潔の区別が出来るよう実行している。	○	感染対策マニュアルを元に感染症予防の教育を徹底していく。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日調理場や調理器具、布巾の消毒の徹底、食器を高温乾燥し食器棚に入れる、毎日の買い物にて新鮮で安全な食材の購入をする事食材は新鮮なうちに調理し作り置きなどせず残った物は処分している。		調理場、調理器具の衛生管理、毎日新鮮で安全な料理を提供出来るよう今後も徹底していく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関入口前のスロープは手摺がついており滑りにくい加工に作られている為安全に通行出来、外の空気を吸いたくなればベンチに座り休む事も出来、清掃を毎日行う事で気持ち良く出入りして頂けるようにしている。		草むしり、季節の花を植え明るい事業所作りをしていきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	時間帯によって太陽光や自動車の音など気になる時はカーテンや窓をこまめに開閉しフロア内に花や季節毎の行事や写真を作成し飾りつける工夫をしている。		居心地良く過ごせるよう利用者と一緒に生活していきたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間にはまるっきり独りになれる場所はないがソファやこたつ等を設置して思い思いに過ごせる様配置しテーブル、椅子も自由に使用出来るようにしている。		利用者一人一人が自由に過ごして頂ける様意見や要望を聞き逃さぬよう工夫していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は使い慣れた物、思い出のものを自由に持ち込み居心地良く過ごせるよう、居室内の配置も本人、家族と相談するよう努めている。</p>		<p>常に居心地良く過ごせるよう本人の意見や身体機能を考慮し工夫していきたい。</p>
<p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>換気は24時間常に心がけ温度調整は天候や利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>		
<p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>			
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している</p>	<p>フロア、廊下、トイレ、浴室、玄関周りなど共有空間には手摺を設置し転倒してもリスクの軽減できるクッションフロアになっている。</p>		
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>居室毎に表札をつけたり、トイレの案内表示を掲示するなどして混乱や失敗を防ぎ自立した生活ができる様に工夫している。</p>		
<p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>周辺の草むしりを行い花壇や家庭菜園を作り安心して気持ち良く活動が行えるよう支援している。</p>		<p>限られた空間ではあるが利用者が楽しんで活動出来る様更に工夫し清掃や草むしりをこまめに行いたい。</p>

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない ⑤その他 ()
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない ⑤その他 ()
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ⑤その他 ()
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ⑤その他 ()
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ⑤その他 ()
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ⑤その他 ()
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ⑤その他 ()
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない ⑤その他 ()
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない ⑤その他 ()

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない <input type="radio"/> ⑤その他 ()
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない <input type="radio"/> ⑤その他 ()
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない <input type="radio"/> ⑤その他 ()
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない <input type="radio"/> ⑤その他 ()

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者がその人らしく尊厳を持ち自己決定ができ楽しく暖かい環境の中で自立出来、暮らせるよう共に笑ったり時には涙したり本当の家族にはなれなくても安心出来る心の寄り所になって頂けるよう職員はいつも心身共に元気で利用者、家族を心より信頼し地域に根ざしたホームにと日々努力しています。

自己評価票

地域密着型サービス自己評価項目

(評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

【記入方法】

- 複数のユニットを持つ認知症対応型共同生活介護事業所の場合、各ユニットごとに、管理者が介護職員と協議の上記入してください。
- 次の項目は、小規模多機能居宅介護事業所のみ記入してください。
項目番号23 ○初期に築く本人との信頼関係
項目番号24 ○初期に築く家族との信頼関係
項目番号25 ○初期対応の見極めと支援
項目番号26 ○馴染みながらのサービス利用
項目番号39 ○事業所の多機能性を活かした支援
- 次の項目は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入してください。
項目番号53 ○身だしなみやおしゃれの支援
項目番号59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援
項目番号60 ○お金の所持や使うことの支援
項目番号61 ○日常的な外出支援
項目番号62 ○普段行けない場所への外出支援
項目番号63 ○電話や手紙の支援
項目番号64 ○家族や馴染みの人の訪問

【用語について】

- 管理者＝指定事業者としての届出上の管理者とする。「管理者」には、管理者不在の場合にこれを補佐する者を含む。
- 職員＝「職員」には、管理者及び非常勤職員を含む。

事業所名 グループホームもも太郎さん(上ノ台)

(ユニット名) 2F

記入者(管理者)
氏名 田上 久美

評価完了日 平成20年1月16日

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所の理念は「自由」「家族の絆」と地域密着型サービスとして「地域に密着し地域に開放された場とし交流を深める」との基本理念を掲げ、職員一同理念の共有と実践に取り組んでいる。	地域住民との交流を独自表現した基本理念の構築をし、現在も継続している。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所の理念は「自由」「家族の絆」と地域密着型サービスとして「地域に密着し地域に開放された場とし交流を深める」との基本理念を掲げ、職員一同理念の共有と実践に取り組んでいる。地域密着は更なる充実を求めこれから積極的な取り組みを実践していく。	○ 地域密着型サービスとして、地域住民との交流・関係性・継続性は重要であり、積極的に事業所内での催し、夏祭り、芋煮会等企画・立案・実行を地域住民の方にも連絡し共同参画。地域町内会の清掃参加。又公民館行事の展示物見学等も実施し社会参加を促し楽しく充実した生活支援をしていく。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	入居時に説明・又は玄関に重要事項説明書の掲示運営推進会議の時に、家族や地域の方に理念の説明。行事の時に地域の方や家族を招待し「家族の絆」を深めつつ地域の方との交流を深め理念の浸透と実践に取り組んでいる。	○ 地域の方にも充分理解して頂き浸透するように、掲示物などの工夫をしていく。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	利用者が散歩時に隣近所の方と会話をしたり、お花を頂いたりしている。又隣近所の方が漬物などできましたと届けてくれたりして気軽に立ち寄って下さる。芋煮会の行事には、近隣の方も招待し交流を深めている。	○ 町内会や隣近所とも更なる日常的な付き合いが出来るように町内会活動にも参加を増やさせて頂き交流を深めていく。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会加入に対しては代表者に対し理解を得るべく努力を重ね町内会に加入できた。職員と利用者が町内会清掃で地域活動に参加。芋煮会等の行事は近所の方をご招待し交流を深めている。	○ 町内会等の活動参加は継続し、老人会への挨拶や利用者との敬老会、招待等も考慮にいれ企画・立案・実践していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>町内会、老人会等の高齢者の方々とのコミュニケーションを深め、何か事業所として出来ることはないか等の話し合いをしつつ、健康教室なども開催したい。</p>
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		<p>グループホームの利用者・家族が安心して質の高いケアサービスが受けられるように、職員一同更に理解を深めサービスの質の向上に努めていきたい。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	<p>これからも運営推進会議を定期的開催し、自己評価や外部評価の結果を話しあいつつ、サービスの質の向上に向けて継続的な取り組みをしていきたい。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		<p>これからも介護相談員や市町村・他行き来する機会を作りサービスの質の向上につとめたい。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	<p>権利擁護に関する制度利用について職員も理解を深める学習会を継続し、必要な人にそれらを活用できるように支援していきたい。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		<p>虐待・身体拘束〇の徹底実施。尊厳をもって介護にあたっていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には入居前の訪問も含め十分な説明を家族・利用者に実施し理解・納得を頂いてから契約を結んでいる。</p>	<p>利用者・家族から不安や疑問点等あれば迅速に対応し不安のない納得した生活が送れるようにする。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>事業所入口に苦情相談窓口のポスターを掲示し、ポストも設置し環境整備し利用者のご意見、不満、苦情はそのつど対応している。又、介護相談員の受け入れ継続にて外部の方へも意見が出来る体制をとっており、運営に反映されている。</p>	<p>今後も利用者や家族からご意見・ご不満・御苦情が表せるように細かい配慮をし、適切な運営に反映する。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>状態の変化や問題があった時はその日のうちに家族に報告を行い、近況や行事の様子等は家族面会時に報告している。金銭管理を依頼されている利用者については出納簿の確認を受けている。広報の作成については、準備中であり、まだ発行には至っていない。</p>	<p>○</p> <p>家族や地域の方等に事業所での利用者の普段の暮らしぶりや行事参加時のお姿・行事予定など定期的な広報誌発行でお伝えしていきたい。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>事業所入口に苦情相談窓口のポスターを掲示し、家族の意見反映に役立てている。又、家族面会時や来訪時に直接職員・管理者が要望やご意見を伺い運営に反映させるように努めている。</p>	<p>○</p> <p>運営推進会議を活用し、定期的に家族のご意見を伺い、一層、事業所の運営に反映させていきたい。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月2回のミーティングを開催し、職員の意見を聴く機会を持ち、緊急を要する事項はその都度話し合っている。管理者会議等で運営者の意見も伝わる体制は継続されている。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>職員間の話しあいで、勤務調整を行い柔軟な対応が出来ている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	必要最小限の異動しか行わない。その後は他職員がフォローする事でダメージを防ぎ、利用者が馴染みの関係で落ち着いて生活できる様に支援している。		異動や離職を最小限にし、職場環境を良くしていきたい。
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人全体として教育委員会があり、職員のスキルアップに役立っている。又内外の研修参加も随時参加し知識向上しつつある。	○	各個人の段階に応じた年間育成計画をたて内外研修参加を図りたい。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会主催の研修会や講習会に積極的に参加し情報交換を行っている。他法人や事業所との交流では他事業所の行事に参加しサービスの向上に取り組み開始した。		これからもグループホーム連絡協議会の研修会参加や他事業所との交流は深め、サービスの質の向上に取り組んでいきたい。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	親睦会等を行って、職員同士のコミュニケーションを図り良好な関係が出来るように工夫している。		ストレス軽減に向けて、職員の職場環境づくりに継続的に取り組みたい。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員一人一人に行事や担当利用者の家族との連絡調整等の役割を持たせ向上心を持つように働きかけている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている(小規模多機能居宅介護)		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食材の買い出しへの同行・食事の準備・洗濯ものたたみ・掃除等を生活リハビリとして出来る方は一緒に行いコミュニケーションを深め喜怒哀楽を共にしている。支えあう関係が築かれている。	利用者の持っている知識や能力を考慮し、また何をしたいのか、何が出来るのかも大事にして話しあい、互いに信頼し支えあう関係をこれからも継続し築いていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族と職員が十分コミュニケーション図り、本人が生活する上で一方通行の介護にならないように、協力して支えていく関係は出来ている。		理念でもある「家族の絆」実践。運営推進会議の充実と活用に努める。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	行事への参加の呼びかけを行い、一緒に過ごす時間を持った。家族に芋煮会に参加して頂き楽しい時間を過ごす事が出来た。より良い関係が築いていけるように支援できた。	○	より良い関係が深められるように本人や家族の話を伺い、家族も一緒に参加できる行事の企画や声かけ等していききたい。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人では家族（子供・孫）や親戚の方が面会に来やすい環境作りは出来ている。馴染みの場所では家族の協力等頂き自分の家に帰り、娘夫婦と外泊することが出来た。馴染みの関係が途切れないように連携と支援がとれた。		家族の協力を頂きながら、連携を図り馴染みの人や場所との触れ合う機会を増やしていきたい。
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者一人一人の個性を把握しつつ、お互いに会話やレクリエーション等で親睦を深め、関わりが増し支えあう事ができた。		利用者同士の関係性を強化し、支え合うことが出来るように、職員が入って支援体制の強化を図りたい。
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	家族の転勤で退居となり、契約終了となられた方がおられるが、退居となっても家族や本人に電話をかけて退居後の様子伺いをしている。		入居先に電話やお手紙を出すことの検討・実施で関係性を断ち切らない付き合いをしていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は利用者の思いや意向を日常生活の中で察知したり、家族が訪問時に家族情報、他を伺う。フェイスシート・アセスメントシート等を活用し暮らしの様子把握に努めている。	○ フェースシート・アセスメントシートを活用し、より一層各個人の思いや暮らし方の把握に努めたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に本人や家族から今までの生活歴、馴染みの暮らし方、今までのサービス利用の経過などを伺い基本情報・フェイスシートに記入、活用。又、日常生活の中でより掘り下げた生活歴など話して下さった時等に記録。日々の介護サービスに活用している。	今後日常生活の中で、利用者が話して下さった事など傾聴し、一人ひとりが大事にしている馴染みの暮らし方等のより一層深い把握に努めたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	本人の心身の状態や残存能力、そして自分で出来ることやしたいこと等を記録に残し現状を職員全員が総合的に把握できる様に努めている。	一人ひとりの現状を理解し、かつ日々の変化にも気付けるような的確な観察や判断力を養い、より総合的な把握に努めていきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族の面会時に意向を確認し、本人には日常生活の中で話しあい、アセスメントを実施。職員全員で会議し情報を共有化し意見やアイデアを反映した介護計画作成をしている。	○ アセスメントシートのより一層の活用とチーム全員で利用者本位の介護計画作成を継続していきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	設定した介護計画の期間内で具体的援助内容を細かく記録。ユニット別に定期的に会議開催。本人に体調や状態変化が生じたときは、本人・家族・職員で話しあい介護計画の見直しを行っている。評価は介護記録の中のケアプランの援助内容の表示の項目に活用し、評価に繋げている。	○ これからも継続し本人の状態変化・見直し必要時は関係者と話しあいプラン見直しは実施していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にケア実践・結果・気づき等記録されている。情報共有しながら、実践しプランの見直しに活かしている。		これからも内容充実したケアの実践・結果、気づきの工夫をして個別記録とし、介護計画の見直しに活かしていきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている (小規模多機能居宅介護)	/		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	介護相談員の月2回の訪問、慰問ボランティア (保育園児との交流会・化粧をしてもらい心に潤いをもつ・ピアノ、ハーモニー楽団の生演奏・ワンマンオーケストラの生演奏等) 民生委員の方の運営推進会議への参加 (3回来訪) 警察等必要とされる機関と協力しながら支援している。	○	これからも必要性に応じ各機関と協力体制とりながら支援していきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在は利用者から意向や必要性などの希望がないため他サービス利用の為の支援は行っていない。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議での定期的参加とご指導を依頼したが、必要時に地域包括センターが協働するとのことで、現在は積極的な交流まではいたっていない。	○	必要に応じ今後は交流を持ち協働していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		<p>これから適切な医療を受けられるように支援していきたい。</p>
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		<p>状態に応じ認知症専門医の受診支援をやっていきたい。</p>
45			
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		<p>必要時は医療機関と適切な連携を実施し安心して入院、そして早期退院が出来るように支援する。</p>
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	<p>重度化や終末期の看取り対応について、意志確認書や対応指針の作成を実施し対応方針の共有化を書面で出来るようにする。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		<p>これからも、家族・主治医との話し合い、そして事業所として出来ること・できないことを見極めかかりつけ医とともにチームとして協力・支援継続し取り組んでいきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入居時に本人・家族と十分話し合いをもち、自宅に居た時となるべく近い配置や、希望時は馴染みの家具持参等配慮した環境づくりを行いダメージの軽減を努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者のプライバシーを尊重し、言葉かけや対応に留意している。個人情報の誓約書もとり、法令遵守の徹底に努めている。		今後もプライバシーに配慮した対応の徹底を図っていききたい。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日常生活の中で、利用者の状態に応じ解り易い言葉でかつ尊厳を持った態度で説明を行い、納得したうえで自分の思いや自己決定が出来るように支援している。		今後も利用者が自分の思いや希望を表出しやすいように、そしてわかる能力に合わせた説明を職員が実施し、利用者が自己決定し納得しながら生活できる様に支援したい。
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床・食事・就寝時間などの生活ペースについては特に規制は設けず、利用者のペースで生活して貰える様に支援している。入浴なども希望時間になるべく入浴できるようにし、希望に沿って一日が過ごせるように支援している。		今後も利用者お一人おひとりのペースを大切にしたい生活が出来る様に支援したい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援(53は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている(認知症対応型共同生活介護)	訪問理容や行きつけの理容室・美容室の利用を家族の協力も得ながら実施し、その人らしい衣服購入は家族の協力を得て、日々の身だしなみやおしゃれは利用者の希望を尊重し衣服選択し着用している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		<p>今後も、本人の嗜好を取り入れたり、行事食の提供をしたりして嗜好の支援継続をしたい。</p>
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	<p>これからも、利用者の健康状態や希望を尊重し入浴支援を行い、入浴が苦手な方に関してはさりげない会話から自然に入浴が出来る様に支援していきたい。</p>
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)</p>		


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している（認知症対応型共同生活介護）	大金管理は家族がしている。少額の金銭管理の出来る方は、少額の金銭は所持しており、毎日食材他職員買い物時同行して頂き、買い物を楽しんでもらう支援をしている。		
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している（認知症対応型共同生活介護）	本人の希望に沿って、職員と一緒に散歩したり、お買いものに行ったりと戸外に出かけられるような支援はしている。	○	今後も本人の希望に沿って、散歩や買い物に多く出かけられるように支援していきたい。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している（認知症対応型共同生活介護）	家族に協力いただき、家族と一緒に温泉に行かれる機会を作ったり、行事計画で他利用者・家族・職員でドライブし他場所で芋煮会・足湯に出かける等し出かけられる機会の支援をした。普段いけない場所の外出支援は回数は少ないがしている。	○	今後も普段いけない場所への外出支援（熱海町の足湯・他）をしていきたい。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている（認知症対応型共同生活介護）	本人自ら家族に電話かけたいとの希望時は電話を渡し、電話かけられるように支援している。家族へのお手紙のやり取りは出来る様に職員一緒にお手紙かき等の支援をしている。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している（認知症対応型共同生活介護）	いつでも気軽に訪問して頂けるように、面会時間の制限はなく、ご家族や馴染みの人が訪問時は居心地良くくつろいで過ごせるように、お茶や椅子・歓談出来る空間作り等の工夫をしている。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について事業所内学習会を実施し、全職員が身体拘束について正しく理解し、身体拘束をしない介護を実践している。		これからも継続し身体拘束はしない介護を実践していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		<p>施錠は行わず、開放感のある環境整備に努めていきたい。</p>
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	<p>事故発生に備えて、定期的な訓練実施をしていきたい。</p>
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	入居中に起こりうるリスクについては、入居時や生活の時々家族面会時等に話しあったり説明したりしている。職員はリスクを最小限に抑えられるように対応策を協議した上で、抑圧感のない生活ができる様に介護している。	○	職員はリスクに対する知識を深め、家族ともリスク対応について話し合い、利用者に対しては抑圧感のない暮らしができる様に支援していきたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日健康状態チェックを行い、状態変化時は観察強化し、必要時は速やかに主治医に連絡し指示いただき対応している。また、情報の共有化の体制はあり、対応に結び付けている。		これからも少しの体調変化でも気づき、速やかに情報を共有し、対応できる様にしていきたい。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬は全部事業所で預かり、服薬指示回数に基づき、その都度職員が服薬介助・服薬確認をしている。また、一人ひとりの処方内容や副作用についての把握に努め、状態の変化の確認に努めている。	○	お薬の説明書や受診ノート等で確認しつつ、お薬箱に個人薬作成時や服薬介助時等は数回他職員の確認も入れる。安全・確実な服薬の徹底をしていきたい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	職員は便秘予防や解消のため、食事のメニューに配慮し水分もなるべく多めに摂取するように利用者に説明している。食事摂取表の活用。又便秘薬服用の方はなるべく体を動かすような働きかけはしている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔内の清潔保持は、その必要性を職員が理解し利用者にも説明し状態に応じ、できるかたは声かけ見守り、できない方に関しては介助する支援を行っておりほぼ全員が二回くらいは実施できたが、毎食後、全員までの口腔清潔保持徹底は出来なかった。	○	これからも、継続して口腔清潔保持が毎食後、全員ができる様にしたい。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分摂取量は毎日チェック表に記録することで把握している。また、お一人おひとりのその日の状態で食事摂取能力が弱い場合等は必要量など職員介助する。あまり食欲無い場合等は主治医に連絡・相談して嗜好品の活用や捕食等の支持を頂き支援している。		利用者のそれぞれの状態把握に努め、より良い栄養摂取ができる様に支援していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	入居時に感染症の有無を確認。感染症に対しマニュアル参考にし、予防に努めている。フロア・トイレ・手すりの消毒や外出戻り時のうがい、手洗いの実施。排泄後、毎食前の手洗いの実施。風邪時のマスク着用。ノロウイルス対策で職員が理解を深めセット等も準備し対応している。	○	感染症に対し、職員が十分な知識を持ち、適正な予防や対応が出来る様にこれからもしていきたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒予防のため、食材は日分ずつ購入し台所の清潔保持に努め、調理器具やふきん等は毎日消毒している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	安心して出入りできる様に、玄関前はスロープや段差の少ない階段設置に安全配慮し、玄関前はベンチを置き気軽に皆様が利用できるような工夫をしている。清掃の徹底に努めた。		これからも、清掃の徹底に努めていきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広く明るい空間作りに努め、ソファーやテーブル設置している。季節感を感じていただけるように前の庭などからお花を取ってきて生け花にしたり、冬は畳の上に炬燵を設置し、希望者はいつでも炬燵に入りテレビなど見れる居心地の良い生活空間作りをしている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファーや炬燵を設置。気の合った利用者同士で歓談したり、新聞を読んだりしておられ、共有空間での居場所の工夫はしている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた家具や好みの物を自由に持ち込める体制を整えている。</p>		<p>居心地の良い居室空間作りで家族や本人からご希望等伺いつつ工夫していきたい。</p>
<p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>毎日の居室掃除時や訪室時に臭いや室温に注意し、換気や室温調整を、利用者の状況に応じて行っている。</p>	○	<p>今後も、居室掃除や訪室時のにおいや室温に気を配り適切な換気・室温が保てつように利用者の状況に応じたこまめの支援を継続してしていきたい。</p>
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下・トイレ・浴室・玄関周りに手すりを設置し安全確保している。フロア内は空間を広くとり自立した生活が送れる様に工夫している。</p>		
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>居室毎に表札をつけたり、トイレの案内表示を掲示するなどして混乱や失敗を防ぎ自立した生活ができる様に工夫している。</p>	○	<p>今後もお一人おひとりのわかる力を活用し、自立した生活ができる様に工夫（下駄箱の整理、他）や支援をしていきたい。</p>
<p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>花壇や家庭菜園を作り、利用者が楽しんで生活し事業所周圍の除草作業も職員と一緒に活動している。</p>	○	<p>これからも、花壇や家庭菜園などを作り、利用者が楽しんで生活できるように空間利用し、さらなる支援をしていきたい。</p>

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない ⑤その他 ()
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない ⑤その他 ()
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ⑤その他 ()
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ⑤その他 ()
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ⑤その他 ()
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ⑤その他 ()
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ⑤その他 ()
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない ⑤その他 ()
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない ⑤その他 ()

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない ⑤その他 ()
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない ⑤その他 ()
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ⑤その他 ()
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない ⑤その他 ()

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ご利用者様一人おひとりが自分らしく、落ち着いて楽しく生活できるようにご利用者様、ご家族様そして職員間の信頼関係を深める様に努力しております。お誕生日には職員手作りの贈呈を行っており、食事に関してもご利用者様の嗜好品を反映し創意工夫しております。毎日のケアでは理念である自由・絆・地域密着等を心がけより質の高いケア実践が出来る様に職員一同取り組んでおります